

「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料(小学校, 中学校)

第3編 単元ごとの学習評価について(事例)

【案】

第1章 「内容のまとまりごとの評価規準」の考え方を踏まえた評価規準の作成

- 1 本編事例における学習評価の進め方について
- 2 単元の評価規準の作成のポイント

第2章 学習評価に関する事例について

- 1 事例の特徴
- 2 各事例概要一覧

事例

第1章 「内容のまとまりごとの評価規準」の考え方を踏まえた評価規準の作成

1 本編事例における学習評価の進め方について

各教科の単元（題材）における観点別学習状況の評価を実施するに当たり、まずは年間の指導と評価の計画を確認することが重要である。その上で、学習指導要領の目標や内容、「内容のまとまりごとの評価規準」の考え方等を踏まえ、以下のように進めることが考えられる。なお、複数の単元にわたって評価を行う場合など、以下の方法によらない事例もあることに留意する必要がある。

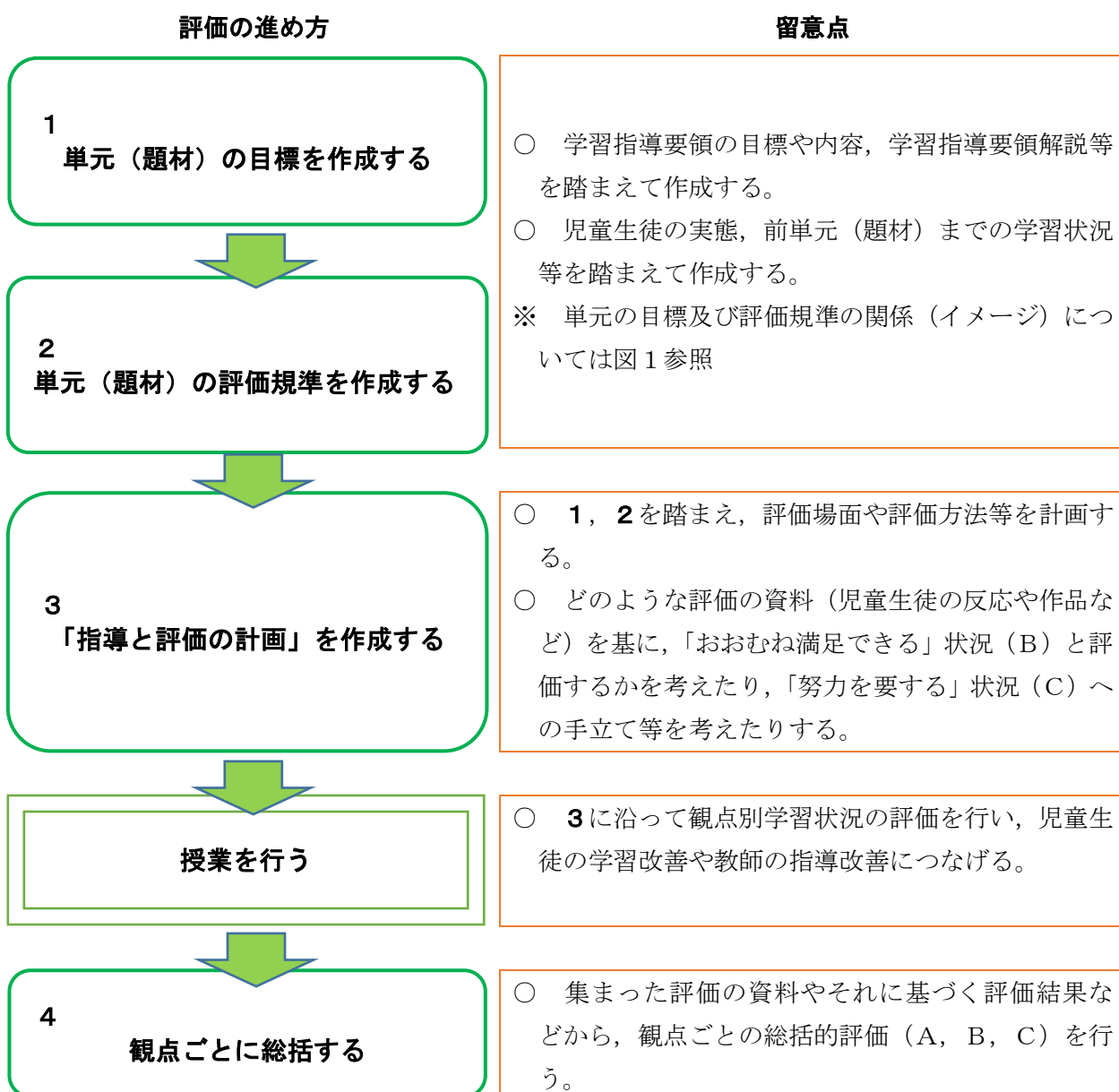
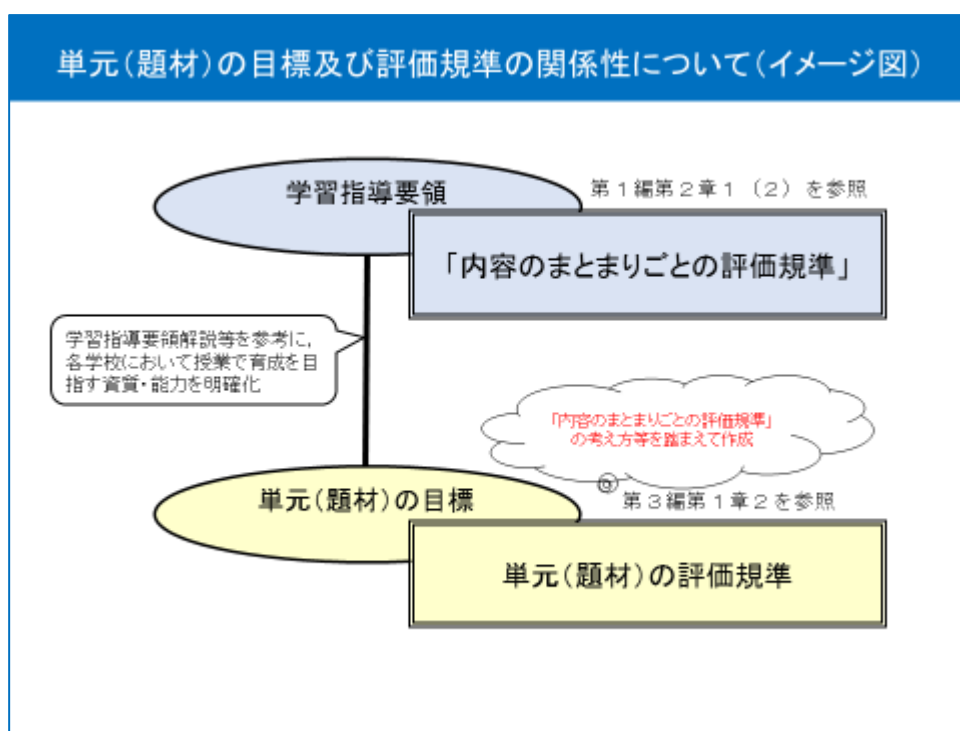


図 1



※ 調整中

2 単元の評価規準の作成のポイント

小学校の社会科においては、学習指導要領に示された「内容のまとまり」は、複数の内容に分かれ、その内容ごとに単元を構成するものがほとんどである。そこで、「内容のまとまりごとの評価規準」をそのまま活用するのではなく、単元ごとに単元構成や学習過程に沿った具体的な評価規準を作成していくことになる。

単元の評価規準作成のポイントは、以下のとおりである。

(1) 知識・技能

知識・技能については、「～を調べ、～まとめ、～理解している」などと知識と技能を関連付けて評価規準を作成する。

社会科の学習を通して児童が獲得する知識とは、例えば、用語などはもとより資料など調べて分かる社会的事象の様子についての具体的な知識と調べてまとめたものを基にして考えて分かる汎用性のある概念的な知識のことであり、これらは、地域や我が国の地理的環境、地域や我が国の歴史や伝統と文化、現代社会の仕組みや働きを通して、「社会生活についての総合的な理解を図るためのもの」である。

また、児童が身に付ける技能とは、具体的には、調査活動や諸資料の活用など手段を考えて問題解決に必要な社会的事象に関する情報を集める技能、集めた情報を「社会的事象の見方・考え方」に沿って読み取る技能、読み取った情報を問題解決に沿ってまとめる技能などであると考えられる。

社会科の「知識・技能」としては、これらの知識と技能を関連付けて「～を調べ、～まとめ、～理解している」などと捉えて評価することが大切である。それは、社会科は、資料を集めて読み取り社会的事象の様子を具体的に理解すること、また、調べまとめたことを基に考え、社会的事象の特色や意味などを理解することが大切だからである。

そこで、ここでは、学習過程に沿って、

①調べて、必要な情報を集め、読み取り、社会的事象の様子について具体的に理解しているか、

②調べたことを文などにまとめ、社会的事象の特色や意味などを理解しているか、

という学習状況を捉えるよう、評価規準を作成する。

その際、評価場面によっては、知識を中心に学習状況を捉える場面や、技能を中心に学習状況を捉える場面があり得ることに留意することが大切である。

(2) 思考・判断・表現

思考・判断・表現については従前通り一体のものとして評価規準を作成する。

見方・考え方を働かせて資質・能力の育成を図る観点から、「～着目して、問いを見出し、～考え表現する」という「追究場面」における評価と、「～比較・関連付け、総合などして、～考えたり、学習したことを基にして、選択・判断したりして表現する」という、社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考えたり、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断したりする「解決場面」における評価について評価規準を作成する。

そこで、ここでは、学習過程に沿って、

①社会的事象に着目して、問いを見出し、社会的事象の様子について考え表現しているか、

②比較・関連付け、総合などして社会的事象の特色や意味を考えたり、学習したことを基に社会への関わり方を選択・判断したりして、適切に表現しているか、

という学習状況を捉えるよう、評価規準を作成する。

その際、単元によっては「社会への関わり方を選択・判断する場面」が設定されていない場合も考えられるため「考えたり、（中略）選択・判断したり」と示していることに留意し、単元の学習活動に応じて適切に文言を選びながら評価規準を設定することが大切である。

（３）主体的に学習に取り組む態度

主体的に学習に取り組む態度については、知識及び技能や、思考力、判断力、表現力等を身に付けることに向けて粘り強い取組を行おうとする側面と、粘り強い取組を行う中で自らの学習を調整しようとする側面について、「主体的に学習に取り組む態度」として評価規準を作成する。

そこで、ここでは、学習過程に沿って、

① 社会的事象について、予想や学習計画を立て、学習を振り返ったり見直したりして、学習問題を追究・解決しようとしているか

② よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとしているか

という学習状況を捉えるよう評価規準を作成する。

上記①の「予想や学習計画を立て」では、学習問題の追究・解決に向けて見通しをもとうとしている学習状況を捉えるようにする。また、「学習を振り返ったり見直したりして」では、問題解決に向けて、自らの学習状況を確認したり、さらに調べたいことを考えようとしたりする学習状況を捉えるようにする。その際、単元によっては、「さらに調べたいことを考える場面」が設定されない場合も考えられるため「振り返ったり見直したり」と示していることに留意し、単元の学習活動に応じて適切に文言を選びながら評価規準を設定することが大切である。

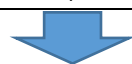
上記②の「学習したことを社会生活に生かそうとする」では、それまでの学習成果を基に、生活の在り方やこれからの社会の発展について考えようとする学習状況を捉えるようにする。これは「社会的な態度」と捉えることができ、社会に見られる課題を把握して社会への関わり方を選択・判断したり、多角的に考えて社会の発展について自分の考えをまとめたりする学習場面で表出されることが多いことが考えられるため、思考・判断・表現との関連性を踏まえて評価規準を設定することが大切である。

その際、単元によっては「選択・判断する場面」や「発展について考える場面」が設定されない場合もあることに留意し、単元の学習活動に応じて評価規準設定の有無を含めて工夫することが大切である。

以上のような評価規準作成のポイントの基、学習指導要領の内容に関する記載事項、内容の取扱い、観点の趣旨を踏まえ、学習指導要領解説の記載事項を参考に、内容についてより具体的に示すよう作成する。詳細になりすぎないように、学習指導要領の記述形式を踏まえて以下のように作成する。

具体的に、内容のまとまりとして、第４学年内容(2)「人々の健康や生活環境を支える事業」と第６学年内容(2)「我が国の歴史」について、単元の評価規準作成例を以下に示す。

- (1) Aについて，学習の問題を追究・解決する活動を通して，次の事項を身につけることができるよう指導する。
- ア 次のような知識や技能を身に付けること
- (ア) Bを理解すること
- (イ) Cなどで調べて，Dなどにまとめること
- イ 次のような思考力，判断力，表現力等を身に付けること
- (ア) Eなどに着目して，Fを捉え，Gを考え，表現すること



知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① E などについて C など で調べて，必要な情報 を集め，読み取り， Fを理解している。	① E などに着目して，問いを見出 し，Fについて考え表現している。	①A（に関する事項）について，予想や 学習計画を立て，学習を振り返ったり 見直したりして，学習問題を追究し， 解決しようとしている。
②調べたことを D や文など にまとめ，B を理解して いる	②○と○を（比較・関連付け，総 合など）して G を考えたり，学習 したことを基に社会への関わり方を 選択・判断したりして，適切に表 現している。	②よりよい社会を考え，学習したことを <u>社会生活に生かそうとしている。</u> ※発展を多角的に考えようとする ※選択・判断しようとする

第4学年内容(2)「人々の健康や生活環境を支える事業」の内容のまとまりは，「飲料水，電気，ガスを供給する事業」と「廃棄物を処理する事業」の2つの単元で構成できる。そこで，それぞれの単元ごとに，単元の評価規準作成のポイントを基に以下のように評価規準作成例を例示する。

第4学年 (2)「人々の健康や生活環境を支える事業」における「内容のまとまりごとの評価規準」と「単元の評価規準」例

【「人々の健康や生活環境を支える事業」の内容のまとまりごとの評価規準（例）】

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・飲料水，電気，ガスを供給する事業は，安全で安定的に供給できるよう進められていることや，地域の人々の健康な生活の維持と向上に役立っていることを理解している。 ・廃棄物を処理する事業は，衛生的な処理や資源の有効利用ができるよう進められていることや，生活環境の維持と向上に役立っていることを理解している。 ・見学・調査したり地図などの資料で調べたりして，まとめている。	・供給の仕組みや経路，県内外の人々の協力などに着目して，飲料水，電気，ガスの供給のための事業の様子を捉え，それらの事業が果たす役割を考え，表現している。 ・処理の仕組みや再利用，県内外の人々の協力などに着目して，廃棄物の処理のための事業の様子を捉え，その事業が果たす役割を考え，表現している。	・人々の健康や生活環境を支える事業について，主体的に問題解決しようしたり，よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとしたりしている。

【単元「飲料水、電気、ガスを供給する事業」の評価規準(例)】 内容の取扱いの記載事項、解説の記載事項

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①供給の仕組みや経路，県内外の人々の協力などについて見学・調査したり地図などの資料などで調べたりして，必要な情報を集め，読み取り，飲料水，電気，ガスの供給のための事業の様子を理解している。 ②調べたことを<u>白地図や図表</u>，文などにまとめ，飲料水，電気，ガスを供給する事業は，安全で安定的に供給できるように進められていることや，地域の人々の健康な生活の維持と向上に役立っていることを理解している。	①供給の仕組みや経路，県内外の人々の協力などに着目して，問いを見出し，飲料水，電気，ガスの供給のための事業の様子について考え表現している。 ②<u>飲料水，電気，ガスの供給のための事業に見られる仕組みや人々の協力関係と地域の人々の健康や生活環境を関連付けて飲料水，電気，ガスの供給のための事業が果たす役割を考えたり，学習したことを基に，節水や節電など自分たちが協力できることを考えたり選択・判断したりして表現している。</u>	①飲料水，電気，ガスを供給する事業について，予想や学習計画を立て，学習を振り返ったり見直したりして，学習問題を追究し，解決しようとしている。 ②学習したことを基に<u>節水や節電などについて自分たちが協力できることを考えようとしている。</u>

【単元「廃棄物を処理する事業」の評価規準(例)】

内容の取扱いの記載事項、解説の記載事項

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①処理の仕組みや再利用，県内外の人々の協力などについて見学・調査したり地図などの資料などで調べたりして，必要な情報を集め，読み取り，廃棄物の処理のための事業の様子を理解している。 ②調べたことを<u>白地図や図表</u>，文などにまとめ，廃棄物を処理する事業は，衛生的な処理や資源の有効利用ができるよう進められていることや，生活環境の維持と向上に役立っていることを理解している。	①処理の仕組みや再利用，県内外の人々の協力などに着目して，問いを見出し，廃棄物の処理のための事業の様子について考え表現している。 ②<u>ごみや下水などの廃棄物を処理する仕組みや人々の協力関係と地域の良好な生活環境を関連付けて廃棄物の処理のための事業が果たす役割を考えたり，学習したことを基に，ごみの減量や水を汚さない工夫など，自分たちが協力できることを考えたり選択・判断したりして表現している。</u>	①廃棄物を処理する事業について，予想や学習計画を立て，学習を振り返ったり見直したりして，学習問題を追究し，解決しようとしている。 ②学習したことを基に<u>ごみの減量や水を汚さない工夫など，自分たちが協力できることを考えようとしている。</u>

次に、第6学年内容(2)「我が国の歴史」は、扱う歴史上の主な事象が(ア)から(サ)の11の内容で示され、具体的に11単元で構成できる。そこで、以下のように単元ごとの評価規準作成例を示す。

第6学年 (2)「我が国の歴史」における「内容のまとまりごとの評価規準(例)」

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・我が国の歴史上の主な事象を手掛かりに、大まかな歴史を理解するとともに、関連する先人の業績、優れた文化遺産を理解している。 ・遺跡や文化財、地図や年表などの資料で調べ、まとめている。	・世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、我が国の歴史上の主な事象を捉え、我が国の歴史の展開を考えるとともに、歴史を学ぶ意味を考え、表現している。	・我が国の歴史上の主な事象について、主体的に問題解決しようしたり、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうたりしている。

【単元「大陸文化の摂取、大化の改新、大仏造営の様子」の評価規準(例)】

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などについて、遺跡や文化財、地図や年表などの資料で調べ、必要な情報を集め、読み取り、大陸文化の摂取、大化の改新、大仏造営の様子を理解している。 ②調べたことを年表や文などにまとめ、天皇を中心とした政治が確立されたことを理解している。	①世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、問いを見出し、大陸文化の摂取、大化の改新、大仏造営の様子について考え表現している。 ②大陸文化の摂取、大化の改新、大仏造営の様子を関連付けたり総合したりして、この頃の世の中の様子を考え、適切に表現している。	①大陸文化の摂取、大化の改新、大仏造営の様子について、予想や学習計画を立てたり、学習を振り返ったりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。

【単元「京都の室町に幕府が置かれた頃の代表的な建造物や絵画」の評価規準(例)】

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などについて、遺跡や文化財、地図や年表などの資料で調べ、必要な情報を集め、読み取り、京都の室町に幕府が置かれた頃の代表的な建造物や絵画を理解している。 ②調べたことを年表や文などにまとめ、今日の生活文化につながる室町文化が生まれたことを理解している。	①世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、問いを見出し、京都の室町に幕府が置かれた頃の代表的な建造物や絵画について考え表現している。 ②京都の室町に幕府が置かれた頃の代表的な建造物や絵画を関連付けたり総合したりして、この頃の文化の特色を考え、適切に表現している。	①京都の室町に幕府が置かれた頃の代表的な建造物や絵画について、予想や学習計画を立てたり、学習を振り返ったりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。 ②学習したことを基に<u>長い歴史を経て築かれてきた我が国の伝統や文化と今日の自分たちの生活との関わり</u>を考えようとしている。

解説の記載事項

【単元「日中戦争や我が国に関わる第二次世界大戦，日本国憲法の制定，オリンピック・パラリンピックの開催」の評価規準(例)】

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①世の中の様子，人物の働きや代表的な文化遺産などについて，遺跡や文化財，地図や年表などの資料で調べ，必要な情報を集め，読み取り，日中戦争や我が国に関わる第二次世界大戦，日本国憲法の制定，オリンピック・パラリンピックの開催などを理解している。 ②調べたことを年表や文などにまとめ，戦後我が国は民主的な国家として出発し，国民生活が向上し，国際社会の中で重要な役割を果たしてきたことを理解している。	①世の中の様子，人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して，問いをし，日中戦争や我が国に関わる第二次世界大戦，日本国憲法の制定，オリンピック・パラリンピックの開催などについて考え表現している。 ②日中戦争や我が国に関わる第二次世界大戦，日本国憲法の制定，オリンピック・パラリンピックの開催などを関連付けたり総合したりして，我が国の政治や国民生活が大きく変わったことや，我が国が国際社会において果たしてきた役割を考えたり，学習してきたことを基に，歴史を学ぶ意味について考えたりして，適切に表現している。	①日中戦争や我が国に関わる第二次世界大戦，日本国憲法の制定，オリンピック・パラリンピックの開催などについて，予想や学習計画を立て，学習を振り返ったり見直したりして，学習問題を追究し，解決しようとしている。 ②学習してきたことを基に<u>過去の出来事と今日の自分たちの生活や社会との関連や，歴史から学んだことをどのように生かしていくかなど国家及び社会の発展を考えよう</u>としている。

解説の記載事項

第2章 学習評価に関する事例について

1 事例の特徴

第1編第1章2（4）で述べた学習評価の基本的な方向性を踏まえつつ、平成29年改訂学習指導要領の趣旨・内容の徹底に資する評価の事例を示すことができるよう、本参考資料における各教科の事例は、原則として以下のような方針を踏まえたものとしている。

○ 単元（題材）に応じた評価規準の設定から評価の総括までとともに、児童生徒の学習改善及び教師の指導改善までの一連の流れを示している

本参考資料で提示する事例は、いずれも、単元（題材）の評価規準の設定から、最終的に学習過程で得た評価情報を総括するまでとともに、評価結果を児童生徒の学習改善や教師の指導改善に生かすまでの一連の学習評価の流れを念頭においたものである。なお、各教科とも事例の一つは、この一連の流れを特に丁寧に示している。

○ 観点別の学習状況について評価する時期や場面の精選について示している

報告や改善等通知では、学習評価については、日々の授業の中で児童生徒の学習状況を適宜把握して指導の改善に生かすことに重点を置くことが重要であり、観点別の学習状況については、毎回の授業ではなく原則として単元や題材など内容や時間のまとまりごとに、それぞれの実現状況を把握できる段階で行うなど、その場면을精選することが重要であることが示された。このため、観点別の学習状況について評価する時期や場面の精選について、「指導と評価の計画」の中で、具体的に示している。

○ 評価方法の工夫を示している

各教科・科目の評価の中で、ワークシートや作品などの評価材料をどのように活用したかなど、教科の特性に応じて、評価方法の多様な工夫について示している。

2 各事例概要一覧

事例1 キーワード 指導と評価の計画から評価の総括まで/「知識・技能」の評価

「廃棄物を処理する事業」(第4学年内容(2))

単元の目標及び評価規準、指導と評価の計画、単元の目標に準拠した総括的な評価の流れを示した事例である。また、ここでは、「知識・技能」の評価について、「知識・技能」を「必要な情報を集め、読み取り～を理解している」「調べたことを～にまとめ、～を理解している」という「知識」と「技能」を関連付けて評価することを具体的な事例を通して説明している。

事例2 キーワード 複数の単元にわたる長期的な視点での評価

/「主体的に学習に取り組む態度」の評価

「地域の安全を守る働き」(第3学年内容(3))

ここでは、第3学年(3)「地域の安全を守る働き」として、「火災」と「事故や事件」の2つの社会的事象を通して、長期的な視点で目標及び評価規準、指導と評価の計画、単元の目標に準拠した評価の流れを示した事例である。この単元は、内容の取扱いにおいて、「緊急時に対処する体制をとっていること」と「防止に努めていること」については、火災と事故はいずれも取り上げることが示され、さらに、その際、どちらかに重点を置くなど効果的な指導を工夫することが求められている単元である。この点も踏まえ、この事例では、長期的な視点で行う、効率的な評価について示している。また、ここでは「主体的に学習に取り組む態度」の評価について、主体的に問題解決する態度とよりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度について具体的な事例を通して説明している。

事例3 キーワード 「評価したことを指導に生かす」と「評価したことを記録に残す」

/「思考・判断・表現」の評価

「我が国の食料生産」(第5学年内容(2))

単元の指導と評価の計画と1時間の学習指導案を示し、「思考・判断・表現」の観点で評価する際の「評価したことを指導に生かす」場面と評価資料を分析して「評価したことを記録に残す」場面の評価の実際を示した事例である。また、ここでは、「思考・判断・表現」の「～などに着目して、問いを見出し、～について考え表現している」と「学習したことを基に○と○を比較・関連付け、総合などして～を考えたり、社会への関わり方を選択・判断したりして、適切に表現している」の評価について具体的な事例を通して説明している。

事例4 キーワード 多様な評価方法の事例

(第6学年内容(1)(2)(3))

ここでは、第6学年の内容を基に、ワークシート、ノートの記述、関係図、作品などの評価方法の工夫例を社会科の特質に応じ位置付け、実際の評価物と評価の在り方について事例を示す。

社会科 事例 1

キーワード 指導と評価の計画から評価の総括まで / 「知識・技能」の評価

単元名

廃棄物を処理する事業

関係する内容のまとめ

第4学年内容（2）「人々の健康や生活環境を支える事業」

1 単元の目標

廃棄物を処理する事業について、処理の仕組みや再利用、県内外の人々の協力などに着目して、見学・調査したり地図などの資料で調べたりしてまとめ、廃棄物の処理のための事業の様子を捉え、その事業の果たす役割を考え、表現することを通して、廃棄物を処理する事業は、衛生的な処理や資源の有効利用ができるよう進められていることや、生活環境の維持と向上に役立っていることを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決し、学習したことを基に地域社会の一員として自分たちが協力できることを考えようとする態度を養う。

2 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①処理の仕組みや再利用、県内外の人々の協力などについて、見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、必要な情報を集め、読み取り、廃棄物の処理のための事業の様子を理解している。 ②調べたことを白地図や図表、文などにまとめ、廃棄物を処理する事業は、衛生的な処理や資源の有効利用ができるよう進められていることや、生活環境の維持と向上に役立っていることを理解している。	①処理の仕組みや再利用、県内外の人々の協力などに着目して、問いを見出し、廃棄物の処理のための事業の様子について考え表現している ②廃棄物を処理する仕組みや人々の協力関係と地域の良好な生活環境を関連付けて廃棄物の処理のための事業の果たす役割を考えたり、学習したことを基にごみを減らすために、自分たちが協力できることを考えたり選択・判断したりして表現している。	①廃棄物を処理する事業について、予想や学習計画を立て、学習を振り返ったり見直したりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。 ②学習したことを基にごみを減らすために、自分たちが協力できることを考えようとしている。

3 指導と評価の計画（10時間）

※網掛けは、評価したことを記録に残す場面

過程	ねらい [第0時]	○主な学習活動・内容	□資料	評価方法と【評価規準】
つかむ	たくさんのごみのゆくえについて話し合い、学習問題をつくることができるようにする。 [①]	○家や学校等から出るたくさんのごみのゆくえについて話し合い、学習問題をつくる。 ・家や学校、市（区町村）から出るゴミの量 ・ごみの種類や出し方 ・学習問題の設定 など	□グラフ「ごみの量や種類（家・学校）」 □グラフ「市のごみの量」 □表「ごみの分別表」 □写真「ごみステーション」「ごみ収集車」「清掃工場やリサイクルセンター」	発言内容やノートの記述内容から、「処理の仕組みや再利用などに着目して、問いを見出しているか」を評価する。 【思－①】
	ごみの処理にたずさわる人々は、たくさんのごみをどのようにして処理しているのでしょうか。			
	学習問題の解決に向けて予想や学習計画を立てることができるようにする。 [②]	○学習問題の解決に向けて予想や学習計画を立てる。 ・学習問題解決に向けた予想 ・学習計画の立案 清掃工場の見学 リサイクルセンター調べ	□学習計画表	発言内容、ノートの記述内容や学習計画表などから、「学習問題の解決に向けた予想や学習計画を立て、解決の見通しをもっているか」を評価する。 【態－①】
調べる	見学・調査したり資料で調べたりして、清掃工場が燃えるごみを処理する様子を調べることができるようにする。 [③④]	○清掃工場が燃えるごみを処理する様子を見学・調査したり各種資料を活用したりして調べる。 ・清掃工場が燃えるごみを処理する仕組み ・清掃工場の仕事の工夫や苦労	□パンフレット「清掃工場」 □清掃工場の方の話	ノートや見学カードなどへの記述内容、学習計画表への記録などから「必要な情報を集め、読み取り、燃えるごみを処理する仕組みなどについて理解しているか」を評価する。 【知－①】
	資料を活用し、リサイクルセンターが燃えないごみや資源ごみ、粗大ごみを再利用する様子を調べることができるようにする。 [⑤]	○リサイクルセンターが燃えないごみや資源ごみ、粗大ごみを再利用する様子を各種資料を活用して調べる。 ・燃えないごみ、資源ごみ、粗大ごみを再利用する仕組み ・リサイクルセンターの仕事の工夫や苦労	□パンフレット「リサイクルセンター」 □図「リサイクルの仕組み」 □文章資料「リサイクルセンターの方の話」	ワークシートの記述内容や発言内容、学習計画表などから「必要な情報を集め、読み取り、燃えないごみや資源ごみ、粗大ごみを再利用する仕組みなどについて理解しているか」を評価する。 【知－①】
	見学・調査したり資料で調べたりしたことをまとめ、話し合い、学習を見直すことができるようにする。 [⑥]	○これまで調べてきたことをまとめ、さらに調べるべきことについて話し合う。 【まとめること】 ・ごみ処理の仕組みや経路 ・ごみ処理に関わる人々の働き 【さらに調べるべきこと】 ・灰の処理に関する問題	□これまでに活用してきた資料 □ノート □実物「灰」	ノートの記述内容や学習計画表などから「これまでの学習を振り返り、さらに調べるべきことを見出し、見通しをもって追究しようとしているか」を評価する。 【態－①】

	市（区町村）が行っているごみ処理問題の解決策を調べ、計画的な取組について考えることができるようにする。 【⑦】	○市（区町村）がごみ処理問題を計画的に解決している様子を調査したり各種資料を活用したりして調べ、市の取組について考える。 ・市（区町村）が現在のごみ処理問題を解決している様子 ・市（区町村）がこれまでのごみ処理問題を解決してきた様子	□文章資料 「市役所の方の話」 □写真「昔と今のごみ処理の様子」 □写真「最終処分場」	ノートの記述内容などから「現在に至るまでに衛生的に処理する仕組みが作られ、計画的に改善されてきたことについて考え表現しているか」を評価する。 【思一①】
まとめる	調べたことをもとに、学習問題について話し合い、ごみを処理する仕組みや人々の協力関係と地域の良い生活環境を関連付け、ごみの処理のための事業の果たす役割を考え表現することができるようにする。 【⑧】	○学習問題について話し合い、ごみを処理する事業の果たす役割について考える。 ・ごみ処理事象の役割についての自分の考え	□資料「学習で活用してきた資料」 □ノート	ノートの記述内容や発言内容などから、「学習したことを基にごみを処理する仕組みや人々の協力関係と地域の良い生活環境を関連付け、ごみの処理のための事業の果たす役割を考え表現しているか」を評価する。 【思一②】
	調べたことをもとに、学習問題について図や文にまとめることができるようにする。 【⑨】	○学習問題について調べたことや話し合ったことに基づいて、ごみ処理の仕組みや経路、人々の協力関係などについて図や文にまとめる。 ・学習問題に対するまとめ	□資料「学習で活用してきた資料」 □ノート	ノートの記述内容などから、「廃棄物を処理する事業は、衛生的な処理や資源の有効利用ができるよう進められていること、それらは生活環境の維持と向上に役立っていることを理解しているか」を評価する。 【知一②】
いかす	様々な立場からごみを減らすための呼びかけをしていることについて考え、ごみを減らすために自分たちに協力できることは何か考え、表現することができるようにする。 【⑩】	○様々な立場からごみを減らすための呼びかけをしていることについて話し合い、ごみを減らすために自分たちにできることは何か考え、発表し合う。 ○ごみを減らすために自分たちにできることについてノートに自分なりの考えをまとめる。 ・ごみを減らす呼びかけおよびその理由 ・リサイクル法 ・世界のごみ処理の様子 ・ごみを減らすために自分たちに協力できること	□文章資料 「ごみ減量に関する様々な取組」「ごみの輸出」 □グラフ「一人あたりのゴミの焼却量」 「世界の焼却炉の数」	ノートの記述内容や発言内容などから、「学習したことを基に、ごみを減らすために、自分たちが協力できることを考えたり選択・判断したりして表現しているか」を評価する。 【思一②】 ノートの記述内容から、「単元の学習を振り返り、ごみを減らすために、自分たちが協力できることを考えようとしているか」を評価する。 【態一②】

4 観点別学習状況の評価の進め方

本事例では、以下の点に留意して観点別に学習状況の評価を進めた。

(1) 効果的・効率的な評価のための工夫

①「評価したことを記録に残す場面」を明示

指導した結果としての学習状況の評価したことを記録に残すことは、観点別の評価結果を総括する際に必要である。そのためには、ノートやワークシート、学習計画表等の記述内容を評価資料として収集することが大切である。

本単元では、評価資料の収集を効果的・効率的に行うことができるよう、指導と評価の計画を作成する際に、評価したことを指導に生かすことを重視するものと全ての児童から評価資料を収集して評価したことを記録に残すものとに分けて、評価資料の収集・記録を心掛けた。

その際、単元のまとまりを見通し、目標の実現状況が児童の反応から顕著に見られる場面を「評価したことを記録に残す場面」として明示した。（「指導と評価の計画」の網掛け部分）。

②児童一人一人の学習状況を把握し、指導に生かすための工夫

児童一人一人の学習状況を把握して、指導に生かすためには、評価規準に照らして、「どんな評価資料から、どんな具体的な姿を捉えるのか」という評価方法を明確にしておく必要がある。そのことを「指導と評価の計画」では学習状況を具体的に捉えるために「～（評価資料）から、『～しているか』を評価する」という記述でまとめている。『～しているか』という姿をあらかじめ具体的に想定しておくことで、「努力を要する」すなわち「～していない」と評価せざるを得ない児童への指導の手立てが明確になる。

例えば、本単元では、清掃工場の見学・調査活動（3・4/10時間）においては、「ノートや見学カードなどへの記述内容（評価資料）」から、「燃えるごみの処理の仕方について、必要な情報を集め、燃えるごみの処理の仕組みについて理解している」という具体的な姿を想定している。この指導と評価の計画を基に実際の学習活動を通して児童の学習状況を捉え、「～調べ、～まとめ、～理解している」という知識・技能の観点で評価している。

(2) 各観点の評価の実際

それぞれの観点については、以下の点に留意して評価を進めた。

ア「知識・技能」

【知一①】では、学習過程「調べる」における「調査・見学したり資料を活用したりして調べる場面」において、ノートの記述内容や発言内容、学習計画表等を通して評価した。

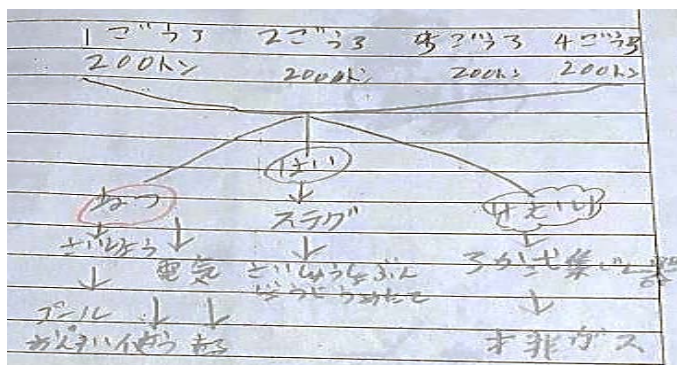
具体的には、処理の仕組みや再利用、県内外の人々の協力などについて、清掃工場やリサイクルセンターで見学・調査したり各種資料を活用したりして必要な情報を集め、読み取り、廃棄物の処理のための事業の様子を具体的に理解しているかを評価した。

【第3・4時】

＜評価方法と評価規準＞ノートや見学カードなどへの記述内容、学習計画表への記録などから「必要な情報を集め、読み取り、燃えるごみを処理する仕組みなどについて理解しているか」を評価する。

【知一①】

- ①ごみ計量器について
- ②プラットホームについて
- ③ごみピットとごみクレーンについて
- ④焼却炉について
- ⑤ボイラーについて
- ⑥灰溶融炉について



U 児 見学カードに記入されていた主な事項

見学カード一部抜粋（④焼却炉について）

M 児

【M 児見学カード記入内容】

- ・プラットホーム ごみを処理する場所
- ・ボイラー 焼却炉
- ・ごみピット ごみをためておく所
- ・灰は1600度～1800度で燃やす
- ・働く人の思い 安全にごみを処理する
- ・クレーンがかっこよかった。

U 児の見学カードには、燃えるごみが処理される仕組みや順番について見学に行き見て聞いたりした内容が事項ごとに具体的に記述されていた。加えて熱、灰、煙の流れについても燃えるごみを処理する仕組みについて説明が記述されていた。以上のことから「おおむね満足できる」状況（B）と判断した。

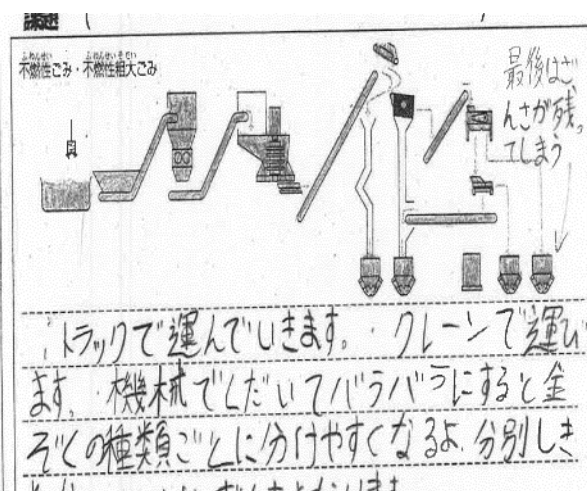
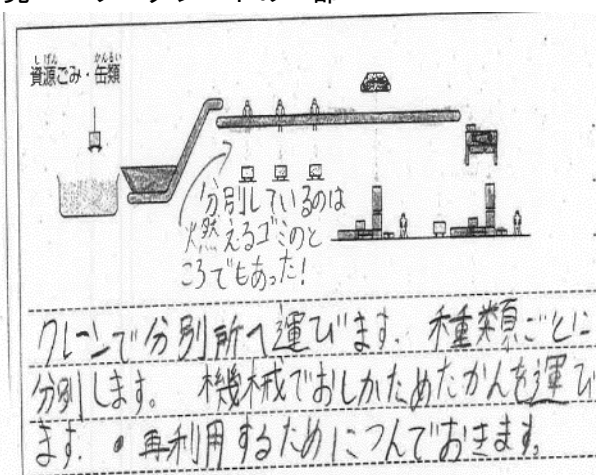
M 児の見学カードには、見学場所の様子は記述されているものの、燃えるごみを処理する仕組みや順番等については断片的な記述にとどまることから「努力を要する」状況（C）と判断した。そこで、5時間目に入る前に、燃えるごみを処理する仕組みについて M 児に質問して整理を促したり、パンフレットや他の児童のまとめた作品等を活用したりして、学習を補い、評価を指導に生かすようにした。

<評価方法と評価規準>ワークシートの記述内容や発言内容、学習計画表などから「必要な情報を集め、読み取り、燃えないごみや資源ごみ、粗大ごみを再利用する仕組みなどについて理解しているか」を評価する。

【知一①】

【第⑤時】

U 児 ワークシートの一部



U 児のワークシートには、資料から燃えないごみや資源ごみ、粗大ごみを再利用している仕組みについて読み取って「クレーンで運ぶ」「種類ごとに分別」など、具体的に記述されていた。以上のことから「おおむね満足できる」状況（B）と判断した。

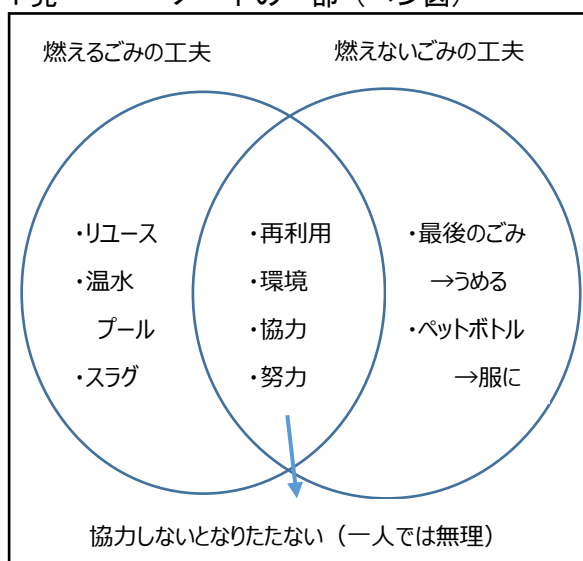
【知一②】では、学習過程「まとめる」における「調べたことをもとに学習問題について図や文にまとめる場面」において、ノートの記事内容などを通して評価した。具体的には、学習問題の解決のために調べたことをノートにまとめた内容などから、廃棄物を処理する事業は、衛生的な処理や資源の有効活用ができるよう進められていることや、それらは生活環境の維持と向上に役立っていることをまとめ、具体的に理解しているかを評価した。

【第9時】

＜評価方法と評価規準＞ノートの記事内容などから、「廃棄物を処理する事業は、衛生的な処理や資源の有効活用ができるよう進められていること、それらは生活環境の維持と向上に役立っていることを理解しているか」を評価する。

【知一②】

Y 児 ノートの一部（ベン図）



【まとめ記事一部抜粋】わたしは、ごみの学習をして、市役所や清掃工場、リサイクルプラザなどの努力のおかげで、きれいな環境で生活できることがわかりました。特に燃やすごみは安全に気をつけていました。（中略）また、ごみを出す種類が曜日ごとに違う理由はごみが市にあふれないようにするためや、周りの市や町と協力してごみを処理していることを知り、わたしたちも「協力すること」が大切だと思いました。最終処分場にうめる量を減らすためにも環境のためにも、ごみを減らすことやリサイクルが大切だと思いました。

Y 児のノートには、清掃工場（左の円）とリサイクルセンター（右の円）の取組とその共通点（中央）についてベン図に整理した記事と、まとめの記事がみられた。まとめには、「市役所や清掃工場、リサイクルプラザなどの努力のおかげで、きれいな環境で生活できること」、「ごみを出す種類が曜日ごとに違う理由はごみが市にあふれないようにするため」、「周りの市や町と協力してごみを処理している」ことに加え、「特に燃やすごみは安全に気をつけて」いること、「最終処分場にうめる量を減らすためにも環境のためにも、ごみを減らすことやリサイクルが大切」といった記事が見られた。以上のことから「十分満足できる」状況（A）と判断した。

M 児

【まとめ記事一部抜粋】ぼくは、ごみの学習をして、清掃工場やリサイクルプラザがなかったら、人の住める環境がなくなってしまうと思いました。ごみを出す日を決めたり、清掃工場を増やしたりして、市役所の人もしばきまりをつくっているから今の生活があるんだなと思いました。（中略）近くの市とも協力をしているとは思いませんでした。自分も協力をしないとイケないと思いました。

M 児のノートには、「清掃工場やリサイクルプラザがなかったら、人の住める環境がなくなってしまう」「ごみを出す日を決めたり、清掃工場を増やしたり」「近くの市とも協力をしている」と記事されている。以上のことから「おおむね満足できる状況」（B）とした。

イ「思考・判断・表現」

【思－①】では、学習過程「つかむ」における「問いを見出す場面」と学習過程「調べる」における「学習問題の解決のために考え表現する場面」それぞれにおいて、知識及び技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等を身に付けているか、発言内容やノートの記述内容などを通して評価した。

具体的には、問いを見出す場面では、発言内容やノートの記述内容から、「学校や家庭、市全体として出るごみの量や種類のグラフ」や「ごみの分別表」、「ごみステーションやごみ収集車、清掃工場やリサイクルセンターの写真」から処理の仕組みや再利用などに着目して、「どのようにあつめているのだろう」「集めたごみはどのように処理しているのだろう」「再利用は、どうしているのだろう」などと問いを見出し、考え、表現しているかを評価した。

また、学習問題の解決のために考え表現する場面では、見学・調査や聞き取り調査などを行ったり各種資料を活用したりして調べた際のノートの記述内容などを通して、現在に至るまでに衛生的に処理する仕組みが作られ、計画的に改善されてきたことについて考え、まとめているかを評価した。

【思－②】では、学習過程「まとめる」における「学習問題について話し合う場面」と学習過程「いかす」における「選択・判断の場面」それぞれにおいて、知識及び技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等を身に付けているか、ノートの記述内容や発言内容などを通して評価した。

具体的には、学習問題について話し合う場面では、ノートの記述内容などから、学習したことを基にごみを処理する仕組みや人々の協力関係と地域の良い生活環境を関連付け、ごみの処理のための事業の果たす役割を考え、説明するなどして表現しているかを評価した。

また、社会への関わり方を選択・判断の場面においては、ノートの記述内容などから、学習したことを基に、ごみを減らすために、自分たちが協力できることを考えたり選択・判断したりして表現しているかを評価した。

ウ「主体的に学習に取り組む態度」

【態－①】では、学習過程「つかむ」における「予想や学習計画を立てる場面」において、知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取組を行おうとする側面を発言内容、ノートの記述内容や学習計画表などを通して評価した。

また、学習過程「調べる」における「学習を見直す場面」において、粘り強い取組を行う中で、自らの学習を調整しようとする側面を発言内容、ノートの記述内容から評価した。

具体的には、予想や学習計画を立てる場面では、発言内容、ノートの記述内容から、学習問題の解決に向けた予想や学習計画を立て、解決の見通しをもとうとしていたかを評価した。

学習を見直す場面においては、ノートの記述内容や学習計画表などから、これまでの学習を振り返り、学習を見直し、まだ解決しきれていない灰の処理の仕方について解決の見通しをもとうとしているかを評価した。

【態－②】では、学習過程「いかす」における「選択・判断の場面」において、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする側面をノートの記述内容や発言内容などから評価した。

具体的には、ノートの記述内容を通して、学習したことを基にごみを減らすために、自分たちが協力できることを考えようとしているかを評価した。

5 観点別評価の総括

本事例では、以下の考え方で単元の観点別評価における観点ごとの総括を行った。

○評価を行う場面や頻度の精選を踏まえ、単元を通してそれぞれの観点の実現状況が把握できる段階で、評価した結果を記録に残し、総括的な評価を行った。

○評価したことを記録に残す場面では、「十分満足できる」状況（A）、「おおむね満足できる」状況（B）、「努力を要する」状況（C）の3段階で評価し、それ以外の評価場面では、評価基準に照らして「努力を要する」状況（C）と判断した児童への指導や支援を行うことを重視した。

○観点ごとの総括の方法は次のように考えた。

知識・技能と思考・判断・表現については、学習過程の「まとめ」や「いかす」において行った評価結果を重視した。それは、最後の評価場面における評価結果は、継続的に指導を積み重ねた結果の学習状況であると捉えたからである。

ただし、主体的に学習に取り組む態度については、予想や学習計画を立て、学習を振り返ったり見直したりして、学習問題を追究・解決しようとしている「主体的に問題解決しようとする態度「態－①」と、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとしている「態－②」という2つの態度について評価することになる。そこで、それぞれの主旨を踏まえて評価をすることから、評価結果が2つ以上の場合、A→AをA評価、C→CをC評価とし、双方の側面を一体的に見取りつつも、双方の側面を積極的に評価するという考えから、このような評価とした。

	評価規準 [] 内数字は時数を表す。	Y 児	U 児	M 児
知識・技能	【知－①】 [③④]			
	【知－①】 [⑤]			
	【知－②】 [⑨]	A	B	B
	単元の総括的な評価	A	B	B
思考・判断・表現	【思－①】 [①]			
	【思－①】 [⑦]			
	【思－②】 [⑧]	A	B	C
	【思－②】 [⑩]	A	B	B
	単元の総括的な評価	A	B	B
主体的に学習に取り組む態度	【態－①】 [②]			
	【態－①】 [⑥]	A	B	C
	【態－②】 [⑩]	A	A	B
	単元の総括的な評価	A	B	B

表の空欄部分は、児童の学習状況を見取り、指導に生かし、学習改善や指導改善につなぐことを重視する時間を意味している。評定が記入されている部分は、評価したことを指導に生かしつつ、評価したことを記録に残す時間を意味している。

社会科 事例2

キーワード 内容のまとまりごとに長期的な視点で行う評価/

「主体的に学習に取り組む態度」の評価

単元名

単元1「火災から人々の安全を守る」

単元2「事故や事件から人々の安全を守る」

関係する内容のまとまり

第3学年 内容(3)「地域の安全を守る働き」

1 指導と評価の計画

(1)単元1「火災から人々の安全を守る」の計画(7時間)

①目標

火災から地域の安全を守る働きについて、消防署などの施設・設備などの配置、緊急時への備えや対応などに着目して、見学・調査したり地図などの資料で調べたりしてまとめ、消防署などの関係諸機関や地域の人々の相互の関連や従事する人々の働きを考え、表現することを通して、消防署などの関係機関は、地域の安全を守るために、相互に連携して緊急時に対処する体制をとっていることや、関係機関が地域の人々と協力して火災の防止に努めていることを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究し、解決しようとする態度を養う。

②単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①消防施設・消防設備などの配置、緊急時への備えや対応などについて、消防署などの関係機関や関連する施設を見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、必要な情報を集め、読み取り、関係機関や地域の人々の諸活動を理解している。 ②調べたことを白地図や図表、文などにまとめ、消防署などの関係機関は、地域の安全を守るために、相互に連携して緊急時に対処する体制をとっていることや、関係機関が地域の人々と協力して火災などの防止に努めていることを理解している。	①消防施設・消防設備などの配置、緊急時への備えや対応などに着目して、問いを見出し、関係機関や地域の人々の諸活動について考え表現している。 ②連携・協力している関係機関の働きを比較・分類したり、関連付けたりして消防署などの関係機関の相互の関連を考えたり、関係機関に従事する人々の活動と地域の人々の生活を関連付けて、従事する人々の働きを考え、表現している。	① 火災から地域の安全を守る働きについて予想や学習計画を立てたり、学習を振り返ったりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。

② 指導と評価の計画(全7時間)

※網掛けは、評価したことを記録に残す場面

過程	ねらい [第○時]	○主な学習活動・内容	□資料	評価方法と【評価規準】
つかむ	地域の安全なくらしを守る働きについて学習問題をつくることができるようにする。 [①]	○イラストや生活経験をもとに、地域の安全を守る働きについて話し合う。 ・地域の安全を守るために、だれがどこで、何をしているかを予想する。	□消火活動をする様子(写真) □事故現場の様子(写真)	ノートの記述や発言の内容から「地域の安全を守るための関係機関や人々、その働きに着目して、問いを見出しているか」を評価する。 【思-①】

	火事から地域の安全を守るための働きについて単元の学習問題をつかみ、学習計画を立てることができるようにする。 【②】 火事の時や、火事を防ぐために、だれが、どこで、どのような働きをしているのか。	○イラストやグラフ、写真などから学習問題をつかみ、予想をもち、学習計画を立てる。 ・単元の学習問題をつかむ。 ・予想を立てる。 ・学習計画を立てる。	□消火活動のイラスト □火災発生件数や火事の原因別の数のグラフ	ノートの記述内容や発言の内容から「火災の際に安全を守るための関係機関や人々の働きに着目して、問いを見出しているか」を評価する。 【思－①】 活動の様子やノートの記述から、「火災から地域の安全を守る働きについて、予想や学習計画を立て、解決の見通しをもっているか」を評価する。 【態－①】
調 べ る	消防署の人たちがどのような働きをしているか理解できるようにする。 【③】	○消防士のお話を聞いたり、訓練、点検の様子を観察したりし、消防署の人たちの働きを調べる。 ・訓練・点検を欠かさない。 ・器具、消防車、服、勤務時間などの工夫	□訓練・点検の写真 □器具、消防車、服、勤務時間などの資料	見学カードやノートの記述内容から「緊急時への備えや対応などについて、消防署を見学・調査し、必要な情報を集め、読み取り、消防署は緊急時に対処する体制をとっていることを理解しているか」を評価する。 【知－①】
	火事が起きたときの関係機関の働きを理解できるようにする。 【④】	○通信指令室と関係機関の人々の働きを調べる。 ・通信指令室の働き ・関係機関の働き	□通信指令室と関係機関のつながりを示すイラスト	ノートの記述内容や発言内容から「緊急時への対応などについて、通信指令室の働きをもとに必要な情報を集め、読み取り、関係機関は火災の時、緊急時に対処する体制をとっていることを理解しているか」を評価する。 【知－①】
	身近な消防施設の働きについて理解できるようにする。 【⑤】	○家や学校、地域の消防施設を調べる。 ・身近な消防施設の分布や働き	□身近な消防施設の分布や働きが分かる地図や資料	ノートの記述内容や発言内容から「消防施設・消防設備などの配置などについて、地域の消防施設の分布や働きをもとに必要な情報を集め、読み取り、関係機関が地域の人々と協力して火災などの防止に努めていることを理解しているか」を評価する。 【知－①】
	火災発生時や、火災予防のための関係機関と地域の人々の諸活動について考えることができるようにする。 【⑥】	○消火、防火についての地域の活動について調べ、活動の意味を考える。 ・消防団の働き ・市民の防災訓練	□消防団の働きや地域の防災訓練の様子(写真)	ノートの記述内容や発言内容から「地域の消火・防火についての取り組みを調べ、関係機関や地域の人々の諸活動について考え表現しているか」を評価する。 【思－①】
ま と め る	火事から安全を守る人々の働きについてまとめることができる。 【⑦】	○調べたことをもとに、消火・防火についての関係図をつくる。 ○消火・防火についての消防署や関係機関の働きについて関係図をもとに考え、まとめる。 ・点検・訓練 ・通信指令室 ・消防施設 ・消防団、地域の取り組み	□今までの学習を再構成した関係図	ノートや関係図の記述内容から「連携・協力している関係機関の働きを比較・分類したり、関連付けたりして関係機関の相互の関連を考えたり、関係機関に従事する人々の活動と地域の人々の生活を関連付けて、従事する人々の働きを考えたりして表現しているか」を評価する。 【思－②】 ノートや関係図の記述内容から「消防署などの関係機関は、地域の安全を守るために、相互に連携して緊急時に対処する体制をとっていることや、関係機関が地域の人々と協力して火災の防止に努めていることを理解しているか」を評価する。 【知－②】

(2) 単元2「事故や事件から人々の安全を守る」の計画（8時間）

①目標

事故や事件から地域の安全を守る働きについて、警察署などの施設・設備などの配置、緊急時への備えや対応などに着目して、見学・調査したり地図などの資料で調べたりしてまとめ、警察署などの関係諸機関や地域の人々の相互の関連や従事する人々の働きを考え、表現することを通して、警察署などの関係機関は、地域の安全を守るために、相互に連携して緊急時に対処する体制をとっていることや、関係機関が地域の人々と協力して事故や事件の防止に努めていることを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究し、解決し、学習したことを基に地域の安全を守るために地域の一員として自分たちができることを考えようとする態度を養う。

②評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①警察署などの施設・設備などの配置、緊急時への備えや対応などについて、警察署などの関係機関や関連する施設を見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、必要な情報を集め、読み取り、関係機関や地域の人々の諸活動を理解している。 ②調べたことを白地図や図表、文などにまとめ、警察署などの関係機関は、地域の安全を守るために、相互に連携して緊急時に対処する体制をとっていることや、関係機関が地域の人々と協力して事故や事件などの防止に努めていることを理解している。	①警察署などの施設・設備などの配置、緊急時への備えや対応などに着目して、問いを見出し、関係機関や地域の人々の諸活動について考え表現している。 ②連携・協力している関係機関の働きを比較・分類したり、関連付けたりして警察署などの関係機関の相互の関連を考えたり、関係機関に従事する人々の活動と地域の人々の生活に関連付けて、従事する人々の働きを考えたり、学習したことを基に地域や自分自身を守るためにできることを考えたり選択・判断したりして表現している。	①事故や事件から地域の安全を守る働きについて予想や学習計画を立て、学習を振り返ったり見直したりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。 ②学習したことを基に地域の安全を守るために自分たちができることを考えようとしている。

③ 指導と評価の計画(全8時間)

※ 網掛けは、評価したことを記録に残す場面

過程	ねらい [第○時]	○主な学習活動・内容	□資料	評価方法と【評価規準】
つかむ	火災の学習を振り返り、事故や事件から地域の安全を守るための働きについて学習問題をつかみ、学習計画を立てることができるようになる。 [①]	○イラストやグラフ、写真などから学習問題をつかみ、予想をもち、学習計画を立てる。 ・学習問題をつかむ ・予想を立てる ・学習計画を立てる	□警察が活動しているイラストや写真 □事故や事件の発生件数を示したグラフ	ノートの記述や発言内容から「安全を守るための関係機関や人々、その働きに着目して、問いを見出しているか」を評価する。 【思－①】 発言の内容やノート記述から「消防で立てた追究の過程を振り返り、予想や学習計画を立て、解決の見通しをもっているか」を評価する。 【態－①】
調べる	警察がどのような仕事をしているか理解できるようにする。 [②]	○警察署の方の話を聞いたり、仕事を観察したりし、警察署の人たちの仕事を調べる。 ・警察の一日の仕事 ・法やきまり	□警察の一日の仕事を表したイラスト □インタビューメモ	見学カードやノートの記述内容から「警察署を見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、必要な情報を集め、読み取り、警察の諸活動を理解しているか」を評価する。 【知－①】

	事故が起きたときの関係機関の働きを理解できるようにする。【③】	○通信指令室と関係機関の人々の働きを調べる。 ・通信指令室の働き ・関係機関の働き	□通信指令室と関係機関のつながりを示すイラスト	見学カードやノートの記述内容から「通信指令室の働きをもとに必要な情報を集め、読み取り、関係機関は事故の際、緊急時に対処する体制をとっていることを理解しているか」を評価する。【知－①】
	地域の安全を守る施設や活動について理解できるようにする。【④】	○地域の安全を守る施設や人々の活動について調べる。 ・こども110番 ・地域パトロール ・道路標識など	□地域の安全を守るための施設や働きが分かる資料	見学カードやノートの記述内容から「安全を守るための施設・設備について、必要な情報を集め、読み取り、関係機関や地域の人々は事故や事件を防止する体制をとっていることを理解しているか」を評価する。【知－①】
	地域の安全を守るための関係機関や地域の人々の諸活動について考えることができるようにする。【⑤】	○地域の人たちの安全を守るための活動について調べ、活動の意味を考える。 ・PTAの活動 ・自治会の働き ・安全マップ	□防犯パトロールやPTAの安全見守り隊などの活動の様子(写真)	見学カードやノートの記述内容から「地域の事故や事件を防止する取り組みを調べ、関係機関や地域の人々の諸活動について考え表現しているか」を評価する。【思－①】
まとめる	事故や事件から安全を守る人々の働きについてまとめることができるようにする。【⑥】	○関係図をつくり、事故や事件に対応したり、防止したりする警察署や関係機関の働きをまとめる。 ・110番 ・法やきまり ・子ども110番 ・安全マップ	□今までの学習を再構成した関係図	ノートの記述内容から「調べたことを白地図や図表、文などにまとめ、警察署などの関係機関は、地域の安全を守るために、相互に連携して緊急時に対処する体制をとっていることや、関係機関が地域の人々と協力して事故や事件などの防止に努めていることを理解しているか」を評価する。【知－②】
	消防と警察を比べ、安全を守る仕事についてまとめることができるようにすると共に、二つの単元の学習を振り返り、新たな問いを設定できるようにする。【⑦】	○消防と警察それぞれの地域の安全を守るための働きを比べ、共通する働きをまとめる。 ・相互連携で対処する体制 ・関係機関と地域の人々との協力安全を守っていること。 ○二つの単元の学習を振り返り、地域の安全を守るための働きについて、新たな問いを設定する。	□消防、警察でまとめたそれぞれの関係図 □消防と警察の共通点と相違点をまとめるベン図	発言の内容やノートの記述内容から「消防と警察のそれぞれの関係機関の働きを比較・分類したりして、関係機関の相互の関連を考えたり、関係機関に従事する人々の活動と地域の人々の生活を関連付けて、まちの安全を守る仕事に従事する人々に共通する働きを考えたりして表現しているか」を評価する。【思－②】
		地域の安全を守るために、自分たちにもできることはないだろうか。		発言内容やノートの記述内容から「二つの単元の学習を振り返り、新たな問いを見出しているか」を評価する。【態－①】
いかす	地域の安全を守るために、自分たちができていることを考えることができるようにする。【⑧】	○地域の安全を守るために自分ができることを選択・判断し、伝え合う。 ・既習事項を整理する。 ○今までの学習を振り返り、地域の安全を守るために自分たちができていることを考え、まとめる。 ・安全宣言をつくる。	□今までの学習の表現物 □安全宣言	発言内容やノートの記述内容から「連携・協力している関係機関の働きを比較・分類したり、関連付けたりして学習したことを基に地域や自分自身を守るためにできることを考えたり選択・判断したりして表現しているか」を評価する。【思－②】 安全宣言の記述内容から「学習したことを基に安全を守るためにできることを考えようとしているか」を評価する。【態－②】

2 内容のまとめりとともに長期的な視点で行う評価

(1) 内容のまとめりを意識して指導計画を立てるための工夫

本単元は多くの学校で「火災」と「事故や事件」の二つの単元で構成される。その結果、二つの単元において同様の評価規準での評価が重複する現状が見られる。そこで本事例では、学習指導要領の内容のまとめりや内容の取扱いを踏まえ、二つの単元の学習を通して3観点の評価場面をバランスよく設けることや、単元1の学習を単元2で生かす場面を設定することを意識して指導と評価の計画を作成した。

本単元の他にも、第5学年の内容(2)の「我が国の農業や水産業における食料生産」や、内容(3)の「我が国の工業生産」、内容(4)の「我が国の産業と情報との関わりについて」などでも本事例のように長期的な視点で指導と評価の計画を立てることが可能であると考えられる。

【本単元の内容の示され方(小学校学習指導要領社会第3学年の内容より)】

- (3) 地域の安全を守る働きについて、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。
- ア 次のような知識及び技能を身に付けること。
 - (ア) 消防署や警察署などの関係機関は、地域の安全を守るために、相互に連携して緊急時に対処する体制をとっていることや、関係機関が地域の人々と協力して火災や事故などの防止に努めていることを理解すること。
 - (イ) 見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、まとめること。
 - イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。
 - (ア) 施設・設備などの配置、緊急時への備えや対応などに着目して、関係機関や地域の人々の諸活動を捉え、相互の関連や従事する人々の働きを考え、表現すること。

但し、この単元は、内容の取扱いにおいて、「緊急時に対処する体制をとっていること」と「防止に努めていること」については、火災と事故はいずれも取り上げること、その際、どちらかに重点を置くなど効果的な指導を工夫することが示されている。ここでは、調べる段階では、「緊急時に対処する体制をとっていること」については消防に、「防止に努めていること」については警察に、それぞれ重点を置くこととした。

(2) 児童の学習状況を的確に把握し、指導に生かす工夫

単元1での児童の姿を見取ること、単元2では、児童の姿をよりの確に把握することができる。例えば、本事例では、学習問題について、予想や学習計画を立てている学習状況を【態一①】の評価規準で評価している。単元1と単元2で、ほぼ同様の学習場面であるため、予想や学習計画が適切に立てられていない児童がいれば、単元1の学習を例に挙げて指導したり、友達の考えを参考にしよう助言したりすることができた。このように、内容のまとめりとともに長期的な視点で指導計画を立てることで、児童の学習状況をよりの確に把握し、指導に生かすことができた。

(3) 長期的な視点で行う各観点の評価の実際

ア「知識・技能」

【知一①】では、調べた社会的事象に関する知識や必要な情報を「集める」「読み取る」技能を見学カードやノートの記述内容を通して評価した。具体的には、施設の調査や資料から必要な情報を集め、読み取り、火事や事故、事件に対して地域の誰がどのようなことをして、防止や対処に努めているかについて具体的に理解しているかを評価した。

【知－②】では、安全を守る関係機関相互の連携、地域との協力に関する知識や必要な情報を「まとめる」技能をノートの記事内容から評価した。具体的には、調べたことを図表や文などにまとめることを通して、安全を守る関係機関が相互に連携して緊急時に対処する体制を整えていること、関係機関が地域の人々と協力して、火災や事故などの防止に努めていることについて具体的に理解しているかを評価した。

イ「思考・判断・表現」

【思－①】では、学習問題をつかむ段階での問いを見出す場面と調べる段階での学習問題を解決するために考える場面において、ノートの記述や発言の内容から評価した。具体的には、問いを見出す場面では、教科書のイラストやグラフを見たり、知っていることを話し合ったりして、施設・設備などの配置、緊急時への備えや対応などに着目して問いを見出しているかを評価した。また、学習問題を解決する場面では、学習問題と関連付けながら安全を守るための関係機関や地域の人々の諸活動について考えたことを見学カードやノートの記述内容から評価した。

【思－②】では、まとめる段階で、問いを解決する場面で従事する人々の働きを考えたことをノートの記述内容から評価した。また、いかす段階で、地域の安全のために自分たちができることを考えたことをノートの記述内容から評価した。具体的には、まとめる段階では、消防と警察などの関係機関の働きを比較・分類したり、関連付けたりして関係機関の相互の関連を考えたり、関係機関に従事する人々の活動と地域の人々の生活を関連付けて従事する人々の働きを考えたりして表現していたかを評価した。いかす段階では、学習したことを基に地域や自分自身を守るためにできることを考えたり選択・判断したりして表現しているかを評価した。

ウ「主体的に学習に取り組む態度」

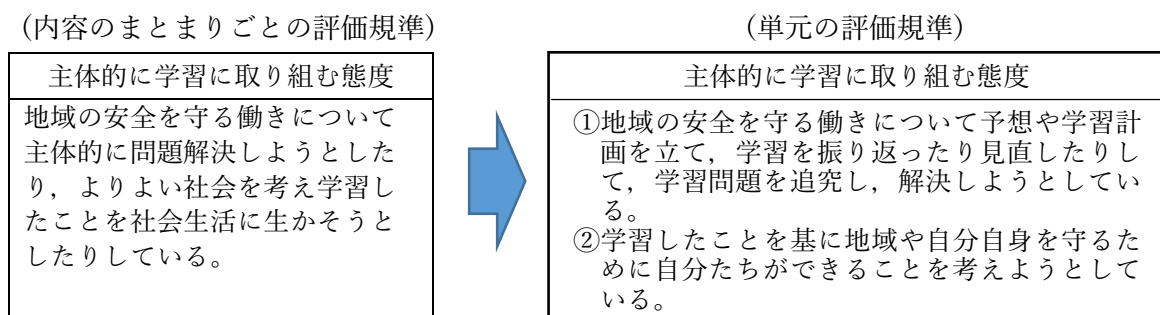
【態－①】では、単元1で学習問題をつかむ場面と、単元2で学習問題をつかむ場面、そして、二つの単元を学習して新たな問いを設定する場面で評価した。単元1で学習問題をつかむ場面では、今までの学習経験を振り返り、学習問題の解決のための見通しをもったり、学習問題に対して主体的に取り組もうとしたりする態度について、発言内容やノートの記述内容から評価した。単元2で学習問題をつかむ場面では、単元1の学習を振り返り、それを踏まえて学習問題について予想をもったり学習計画を立てたりする姿を評価した。また、二つの単元を学習して新たな問いを設定する段階では、二つの単元の学習を振り返ったり見直したりして、「自分たちにできることはないだろうか」という問いを設定しようとする態度を評価した。

【態－②】では、よりよい安全な社会を考え、消防と警察の二つの単元で学習したことを社会生活に生かし、自分たちが地域の安全のためにできることなどを考えていこうとする態度について、活動の様子やノートの記述内容から評価した。具体的には、単元2の終末に「生かす」段階を設定し、二つの単元を関連付けながら、法やきまりの大切さや地域の安全を守る諸活動を振り返り、地域の安全のために自分たちに何ができるかを考え、提案しようとしているかを評価した。

3 「主体的に学習に取り組む態度」の評価

(1) 主体的に学習に取り組む態度の捉え

本事例の「主体的に学習に取り組む態度」については、「内容のまとまりごとの評価規準」と「単元の評価規準」において以下のように示されている。



「主体的に学習に取り組む態度」は、社会科では、「主体的に問題解決しようとする態度」と「よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度」の二つを評価する。

単元の評価規準の①が「主体的に問題解決しようとする態度」、②が「よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度」である。

① 主体的に問題解決しようとする態度について

「主体的に問題解決しようとする態度」は、学習問題について予想や学習計画を立て、学習を振り返ったり見直したりして学習問題を追究し、解決しようとしている態度を評価する。学習問題の解決に粘り強く取り組む側面や自らの学習を調整する側面を評価するようにしたい。

② よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度について

「よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度」は、学習したことを基によりよい社会の実現のために自分たちができることを考えたり選択・判断したりしようとする態度を評価する。この態度は、学習指導要領の内容の取扱いにおいて、「自分たちにできることなどを考えたり選択・判断したりできるよう配慮すること」、「多角的に考え、〇〇の発展について、自分の考えをまとめることができるよう配慮すること」と示されている内容に関連する単元で評価規準を設定することが考えられる。

(2) 主体的に問題解決しようとする態度の評価場面例

【態－①】の評価規準の「予想や学習計画を立て」では、単元の導入段階で、学習問題に対する予想や解決までの学習計画を立てながら、学習問題を追究・解決しようとしている態度を評価する。

また、【態－①】の評価規準「学習を振り返ったり見直したりして」とは、児童が、問題解決に向けて、自己の学習状況を確認したり、さらに調べるべきことを考えようとしていたりしている態度を評価する。

【態－①】の評価場面を本事例に即して、以下の三場面で説明する。

① 予想や学習計画を立てる。

単元導入時に、児童が学習問題をつかむ際、問題解決に向けて、予想を立てたり、解決までの見通しを立てたりする場面の評価事例である。本事例では、活動の様子やノートの記述内容から、学習問題に対する予想や学習計画を立てているかを評価した。

単元導入時に予想や学習計画を立てる場面

【態—①】 単元1「火災から人々の安全を守る」 2/7

《活動の様子やノートの記述内容から》
火事のとき、消防士さんが現場で消火活動をしているのだと思います。その他にも火事から地域を守るために、誰かが何かをしているかもしれないので、今から調べていきたい。教科書を調べたり、消防署の見学したりして調べ、火事から地域の安全を守っている人とその働きを明らかにしたいです。

【評価方法】

活動の様子やノートの記述内容から、「火災から地域の安全を守る働きについて、予想や学習計画を立て、解決の見通しをもとうとしているか」を評価する。

【教師の評価と指導】

○学習問題に対する予想を立てている。

○学習問題の解決に向けて、見通しをもっている。

以上のことから「おおむね満足できる」状況(B)と判断した。

*「努力を要する」状況(C)と判断される児童に対しては、今までの学習を振り返ったり、友達の考えを参考にしたりするよう指導した。

ポイント：学習問題に対する予想を立て、解決のための見通しをもっているかを見取る。

② 学習状況を確認し、さらに調べるべきことを考える。

本事例では、児童が学習状況を確認し、さらに調べるべきことを考える場面の評価事例である。一つ目は、単元1の学習を振り返り、単元2の予想や学習計画を立てる場面である。ここでは、単元1の学習状況を確認し、その学習を生かして、単元2でさらに調べるべきことを考えようとしているかを評価した。

単元1の学習を振り返り、単元2の予想や学習計画を立てる場面

【態—①】 単元2「事故や事件から人々の安全を守る」 1/8

《発言の内容やノートの記述内容から》
火災の時は、だれが、どこで、どのような働きをしているかという視点で、教科書や見学を通して調べて解決したよ。事故や事件も、地域の安全を守るための働きを同じ視点で見えていけばよいと思う。きっと、警察や地域の人など様々な人の働きがあると思う。また、教科書や見学を通して問いを解決していきたい。

【評価方法】

発言の内容やノートの記述内容から、「消防で立てた追究の過程を振り返り、予想や学習計画を立て解決しようとしているか」を評価する。

【教師の評価と指導】

○「火事の時は…」や「同じ視点で…」などの記述から、前単元の学習状況を振り返っている。

○さらに調べるべきことを考え、学習問題の予想や学習計画を立てている。

以上のことから「おおむね満足できる」状況(B)と判断した。

*「努力を要する」状況(C)と判断される児童には、前単元の学習を振り返ったり、友達の考えを参考にしたりするよう指導した。

ポイント：前単元の学習状況を確認し、さらに調べるべきことを考え、新たな予想や、学習計画を立てているかを見取る。

二つ目は、単元2の終末でさらに調べるべきことを考える場面である。本事例では、消防と警察の働きを学習した上で、「自分たちは何ができるだろう」というさらに調べるべき課題を見出す姿を評価した。

単元2の終末でさらに調べるべきことを考える場面

【態—①】 単元2「事故や事件から人々の安全を守る」 7/8

《発言の内容やノートの記述内容から》
今まで地域の安全を守るために誰が、どこで、何をしているかを調べてきた。地域の安全を守るために、多くの人が毎日、工夫や努力をしてくれている。自分たちは多くの人に守られているが、地域の安全をもっと守るためには、自分たちにもできることがあるのではないだろうか。次はその問題を解決したい。

【評価方法】
発言内容やノートの記述内容から「二つの単元の学習を振り返り、新たな問いを見出しているか」を評価する。

【教師の評価と指導】
○今までの二つの単元の学習状況を確認している。
○さらに調べるべき課題を見出している。
以上のことから「おおむね満足できる」状況(B)と判断した。
*「努力を要する」状況(C)と判断される児童には、「この人たちの働きだけで安全は守られる？」と問い、自分たちができることを考えられるよう指導した。

ポイント：今までの学習状況を確認し、さらに調べるべきことを明らかにしようとしている姿を見取る。

尚、「学習を振り返ったり見直したりして」については、特定の型に沿った学習の進め方を一律に指導することを求めているものではないことや、知識・技能や思考・判断・表現の観点が十分満足できるものであれば、個々人の学習の進め方を認め、そのまま学習を進められるようにすることに留意することが必要である。

(3) よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度の評価場面例

【態—②】の「学習したことを基に地域や自分自身を事故や事件から守るために自分たちができることを考えようとしている」では、学習問題を解決する過程で得たことを根拠によりよい社会の実現に向けて考えようとする態度を評価する。

「よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度」

【態—②】 単元2「事故や事件から人々の安全を守る」 8/8

《活動の様子やノートの記述内容から》
火事や事件、事故から地域の安全を守るために、多くの方が予防や対処に努めていた。地域の安全を守るために、私も地域の一員として、地域で開催されている避難訓練に積極的に参加したい。また、火事や事故を起こさないように、火の扱いに注意したり、交通ルールを守ったりしたい。

【評価方法】
活動の様子やノートの記述内容から「学習したことを基に安全を守るためにできることを考えようとしているか」を評価する。

【教師の評価と指導】
○学習したことをもとに考えている。
○地域の一員として自分ができることを考えている。
以上のことから「おおむね満足できる」状況(B)と判断した。
*「努力を要する」状況(C)と判断される児童には、友達との対話を通して、気がつくように支援した。

ポイント：学習したことをもとに、地域や社会において自分ができることを考えている姿を見取る。

よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度の評価は、すべての単元において指導と評価の計画に位置付けるのではなく、学習指導要領の「内容の取扱い」に「社会への関わり方を選択・判断する」、「発展を多角的に考える」ことが示されている内容に関連する単元で設定することが考えられる。その際にも、児童に拙速な社会参画を促すこと、学習したことを根拠にしない独りよがりな考えをもつことを求めるものではないことに留意することが大切である。例えば、以下に示す単元では積極的に評価していくことが考えられる。

【態－②】を積極的に評価し、指導に生かす内容

学年	内容		内容の取扱い
第3学年	(3)	「地域の安全を守る働き」	選択・判断
	(4)	「市の様子の移り変わり」	発展
第4学年	(2)	「人々の健康や生活環境を支える事業」	選択・判断
	(3)	「自然災害から人々を守る活動」	選択・判断
	(4)	「県内の伝統や文化、先人の働き」	選択・判断
第5学年	(2)	「我が国の農業や水産業における食料生産」	多角的・発展
	(3)	「我が国の工業生産」	多角的・発展
	(4)	「我が国の産業と情報との関わり」	多角的・発展
	(5)	「我が国の国土の自然環境と国民生活との関連」	選択・判断
第6学年	(1)	「我が国の政治の働き」	多角的
	(3)	「グローバル化する世界と日本の役割」	多角的・選択・判断

(4) 多様な評価方法で見取る

本実践では、ノートの記事内容やレポート、授業中の発言、教師による行動観察や児童による自己評価や相互評価等の状況など、多様な方法を心がけた。また、主体的に学習に取り組む態度と知識及び技能の習得、思考・判断・表現のつながりを意識し、児童が学習問題や問いに対して主体的に関わっているかに重点を置いて評価した。他の観点の学習状況と照らし合わせながら、児童の問題解決への主体的な関わりを評価し、指導改善を図ることが重要であると考えたからである。